

科目名	実習ゼミⅢ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
摂食・嚥下障害の臨床像を理解し、評価・訓練の実際を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
摂食・嚥下障害の臨床像について理解し、それに対する評価法と訓練法を学び、言語聴覚士の役割と課題について考える。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
摂食・嚥下障害の評価診断と治療についての知識と技術を習得する。								
回数	講義内容							
1	摂食・嚥下障害の障害像の理解を深める							
2	摂食・嚥下障害の評価法(1)							
3	摂食・嚥下障害の評価法(2)							
4	評価演習(1)							
5	評価演習(2)							
6	嚥下訓練:間接訓練の理論							
7	間接訓練演習							
8	嚥下訓練:直接訓練の理論							
9	直接訓練演習							
10	嚥下食について理解を深める							
11	嚥下食の実習							
12	臨床的なチームアプローチについて							
13	チームアプローチ演習							
14	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーション							
15	まとめ							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版			大森孝一ほか			医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。								